

企画
展



「アングラ」の前に「実験」があった！

実験劇場と唐十郎

1958
|
1962



2018
10/5(金)～10/28(日)

明治大学 駿河台キャンパス 図書館ギャラリー

JR中央線・総武線、地下鉄東京外丸の内線／御茶ノ水駅下車徒歩3分

地下鉄東京外千代田線／新御茶ノ水駅下車徒歩5分

地下鉄都営三田線・新宿線・東京外半蔵門線／神保町駅下車徒歩5分

《 入 場 無 料 》

開館時間 平日 8:30～22:00

土曜 8:30～19:00

日曜 10:00～17:00

※明治大学図書館のホームページにてご確認の上、お越しください。

主催 明治大学文学部

お問い合わせ 明治大学文学部事務室 TEL: 03-3296-4180

唐十郎新発見原稿多数展示!

1958年

第2回1年生勉強会『海の底の6人』(コットマン作)
『死の前に』(ストリンドベリ作)
6月 大学院ホール
第3回公演『混血児』(R・ヒューズ作)12月 記念館講堂
*唐十郎(大鶴義英)明治大学文学部演劇学専攻に入学。
実験劇場に入り(12期)『海の底の6人』、『混血児』に出演。
以下、すべての公演に出演。

1959年

第8回試演会『レフティを待ちつつ』(C・オデッツ作)
6月 大学院ホール
第4回公演『民衆の敵』(イブセン作 アーサー・ミラー翻案)
11月 記念館講堂
*『民衆の敵』の翻訳は岡野和夫(10期)が行なった。
岡野は直接ミラーに手紙を出し、許可を得た。

1960年

第9回試演会『廃墟』(三好十郎作)7月 記念館講堂
*6月に日本全体をゆるがせた安保反対闘争があった。
実験劇場も『廃墟』稽古中、反対運動に加わり、運動終焉後には
『廃墟』公演延期を決断。安保後の方向をめぐって議論が続いた。
唐も加わった劇団有志は茨城県の農村で永堀徹(11期)作
『水引き』を8月に上演した。

1961年

第5回公演『島』(堀田清美作)6月 記念館講堂
第6回公演『帰郷する友へ』(岡村直邦作)11月 記念館講堂
*農村公演は好評で再度公演。そして様々な議論の中から
12期の岡村による創作劇を公演し、「安保」後を問うことになった。

1962年

第7回公演『長い墓標の列』(福田善之作)6月 記念館講堂
第8回公演『風浪』(木下順二作)12月 中野公会堂
*唐十郎は3月に卒業し青年芸術劇場の研究生になるが、しばしば
稽古場をおとずれる。翌年には退団し実験劇場の仲間と
「シチュエーションの会」(状況劇場の前進)を結成しサルトルの
『恭しき娼婦』を上演。

※公演場所は当時の名称

関連イベント

1

劇団 唐組 第62回公演
【唐組30周年記念講演第2弾】
「黄金バット ~幻想教師出現~」
作・唐十郎 演出・久保井 研+唐十郎

忍中田校舎で開かれる風鈴学級。
「お前たちはまだまだ幼い。
だからまだ卒業させるわけにはいかないよ」
幻想教師が授ける巻を生き抜く術とは?!

2018
10/6(土) 10/7(日)
10/12(金) 10/13(土) 10/14(日)
10/19(金) 10/20(土) 10/21(日)
毎夕19:00(18:30開場)

明治大学 駿河台キャンパス構内
10号館裏 猿楽通り沿い特設紅テント
JR「御茶ノ水」駅より徒歩10分、東京メトロ半蔵門線/
都営三田線「神保町」駅より徒歩6分

2018
10/27(土) 10/28(日)
11/2(金) 11/3(土・祝) 11/4(日)
毎夕19:00(18:30開場)

雑司ヶ谷・鬼子母神
「池袋」駅・都電荒川線「鬼子母神前」駅・副都心線「雑司ヶ谷」駅下車

関連イベント

2

シンポジウム
「実験劇場と唐十郎」

2018
10/13(土) 15:00~
明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー1083教室
出席 永堀徹(実験劇場) 甲賀元嘉(実験劇場)
神山彰(明治大学文学部 演劇学専攻教授)
久保井研(劇団唐組 座長代行)
樋口良澄(唐十郎アーカイブ運営委員)

関連イベント

3

講演・ワークショップ
「唐十郎の演劇世界」

2018
10/9(火) 13:30~
明治大学 駿河台キャンパス 構内
10号館裏 猿楽通り沿い特設紅テント

表面 写真上・左より実験劇場団員当時の古賀国清・唐十郎・久間敏一郎 後に状況劇場に加わる。
撮影者不詳 データ作成 首藤幹夫

表面 写真下・当時の実験劇場の活動から